日高豊岡南道路が開通

11月1日、北近畿豊岡自動車道の新区間「日高豊岡南道路」が開通し、上佐野トンネルで行われた式典では関係者約150人が延伸を祝いました。

今回開通したのは、日高町久斗（日高神鍋高原ＩＣ）から但馬空港ＩＣまでの6・1㎞の区間。トンネル4本で結び、途中には日高北ＩＣが設けられています。

今回の開通で、災害時の緊急輸送道路としての機能、救急搬送時の時間短縮はもちろん、並行する国道312号線の渋滞緩和などが期待されるとともに、京阪神からの移動時間短縮により更なる大交流の活性化が期待されます。

▲テープカット、くす玉割りの後、関係車両約40台で通り始めのパレードが行われました。

10・20台風23号メモリアルデー、防災・減災を学ぶ

2004年の台風23号災害から16年目にあたる10月20日、市内の小中学校、幼稚園・認定こども園27校園で避難訓練や防災授業などが行われました。出石中学校で行われた防災授業では、先生からの「新型コロナが流行っている今、避難所に行くか、自宅に残るか」などの質問に自分の考えを発表し、市の避難場所以外に自宅、親戚、知人宅、ホテルなどの安全な場所に避難する「分散避難」の考え方を学びました。石坪校長は「災害はいつ、どこで起こるかわからない。自分ごととしてアンテナを高く張ってほしい」と話しました。

《問合せ》こども教育課　☎23－1452

▲国土交通省と市が協力して作成した教材を活用した防災授業

市政ニュース

〜主な市政の動き〜

【10月】

20日・台風23号被災者追悼の集い
・植村直己冒険館新施設愛称決定
21日・おんぷの祭典クラシックコンサート
25日・「日高豊岡南道路」開通記念イベント　トンネル・橋梁ウォーク（11月1日開通式典）
29日・「パンダ湯」展示（〜11月1日）

【11月】

1日・絵本作家tuperatupera（ツペラツペラ）による読み聞かせライブ
2日・城崎温泉「御所の湯」リニューアルオープン
・秋季市政懇談会（日高、9日・城崎、10日・但東、17日・出石、19日・豊岡、24日・竹野）
3日・第71回豊岡市美術展（〜8日）

※掲載している情報は編集時点（11月13日）のものです。変更になっている場合がありますので、注意してください。

マムシ谷古墳群から6基の古墳が明らかに

マムシ谷古墳群は公立豊岡病院北の尾根上に位置し、約20基の古墳で構成されています。公立豊岡病院の駐車場造成に伴い発掘調査を実施した結果、5世紀後半から6世紀前半に造られた6基の古墳が確認されました。墳丘の中心部には埋葬跡があり、木棺と共に埋葬されたと思われる須恵器も見つかりました。

6基のうち2基はそれぞれが離れた場所に立地しているのに対し他の4基は近接して築造されていました。同じ古墳群にあって造り方が異なるのは、身分など群集墳を築造した集団内での違いを示しており、興味深い成果となりました。

▲木棺が置かれたと思われる二つの埋葬跡（4号墳）

《問合せ》文化振興課文化財室 ☎21-9012

愛之助さん、壱太郎さんから応援メッセージ、届く

今年の「永楽館歌舞伎」は新型コロナウイルス感染症拡大により中止となりました。永楽館歌舞伎の時期を迎え、毎年出演していただいている片岡愛之助さんと中村壱太郎さんから応援メッセージをいただきました。

対談では、市長の進行で愛之助さんと壱太郎さんにコロナ影響下での歌舞伎界の現状、永楽館歌舞伎公演再開に向けた熱い想いなどを語っていただきました。映像は市および出石永楽館のホームページで公開している他、出石地域の施設等で放映しています。

▲和やかな雰囲気で行われた撮影（大阪松竹座）

《問合せ》出石振興局地域振興課 ☎52-3111

中貝市長の徒然日記 157

祝・認可！ その1

2015年6月22日、但馬技術大学校元校長の椿野晴繁さんが、市長室に来られました。「政府の産業競争力会議で、専門職大学を制度化する方針が出ました。技大を4年制の大学にするチャンスです」

それがスタートでした。

8月12日、但馬技大を強化して専門職大学にできないか、と井戸知事に訴えました。「文科省の議論を見極め、検討します」と知事が発言され、議論が始まりました。

ある日、ブックディレクターの幅允孝さんと豊岡で会うことがありました。ものづくりと観光を学ぶ専門職大学の構想を説明すると「観光は総合コミュニケーションです」と幅さん。「なるほど」

2016年5月30日、コウノトリ但馬空港で、平田オリザさんと一緒になりました。ものづくりと観光コミュニケーションの構想を話しました。機内では席が隣同士でした。「コミュニケーションなら演劇です。演劇を構想に入れた方がいいです」「なるほど」

6月4日、日村豊彦県議の「お別れの会」。遺影の前で、知事と立ち話をしました。

「平田オリザさんは、専門職大学に一肌脱ぐと言われています。ぼくの調べたところ、平田さんの東京芸大教授の任期は、あと3年です」「あ、それなら平田さんに学長になってもらったらいい」と知事。

8月9日、但馬の市町長から知事への要望会。「城崎国際アートセンターは、世界中からアーティストが来ています。これを活かせば、日本にまだない大学ができるかもしれません」と中貝。「うん、そうですね、芸術系の学部がいいかもしれない」と知事。

最終的に、観光とアートを学ぶ学部になりました。

ぼくが出したボールに幅さんと平田さんがちょこんと足を当てて方向を変え、ボールはディフェンスの間をスルスルっと抜けていきました。スルーパスです。その先に、ゴール前で待ち受ける井戸知事の右足がありました。つづく

 ※掲載している情報は編集時点（11月13日）のものです。変更になっている場合がありますので、注意してください。